

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	119	事業名	巡回バス運行再編事業		担当課		安心安全課		
			(中事業名) 巡回バス運行再編事業		予算区分（款-項-目-中事業）		2.1.12.2 巡回バス運行再編事業		
					決算書ページ		73	～ 一般	
I 基本情報	総合計画	基本目標	6	あえて歩いてみたくなるまち					
		政策	1	外出しやすい環境の整備					
		施策	(1)	公共交通の利便性の向上					
	その他	開始年度	平成10年度						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		民間事業者とのみ協働可		
		根拠法令等							
		関連計画	長久手市地域公共交通計画						
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)			
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 60,000人		【アクションプラン指標】 N-バス利用者数【単年】 【その他の指標】 乗降調査実施回数		N-バスの乗車人数が増加する。 (成果指標名) N-バス乗車人数		④最終成果 (大事業の将来像)	
		【事業内容】 N-バスの運行を継続し、地域特性にあった補助交通となるよう、他の公共交通と連携しながら、デマンド型交通実証実験の状況を踏まえ、路線の見直しや運賃の改定を行う。						大事業共通 N-バスの運行を継続し、地域特性にあった補助交通となるよう事業を進める。	

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度
				基準値	目標値						
	1	【アクションプラン指標】 N－バス利用者数【単年】	人	基準値	139,898	目標値	147,000	153,000	159,000	136,000	141,000
				目標値	141,000	実績	141,074				
	2	【その他指標】 乗降調査実施回数	回	基準値		目標値	6	6	6	6	6
				目標値		実績	6				
	3			基準値		目標値					
				目標値		実績					
	4			基準値		目標値					
				目標値		実績					
エピソード	事業開始の背景	平成10年7月1日から2台のN－バスが走り始め、市の地域公共交通に係る各種計画、長久手市地域公共交通会議での議論、市民ワークショップ等を踏まえ、ルート再編や料金改定を行い、現在5台のN－バスで市内を運行している。									
	各年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
	R6	コロナ禍、ルート・ダイヤ改正により乗車人数の減少はみられたものの、それ以前と同程度の乗車人数になるように、引き続き、令和6年4月に策定した長久手市地域公共交通計画等をもとに取組を進めたいと考えている。 なお、収支率については、令和4年の料金改定により、上昇し現在は横ばい傾向（約7%）にあるものと言える。				R7					
	R8					R9					

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		N－バス乗車人数		人	R3 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R8 年度		R10 年度	
					137,341		139,898		141,074		159,000		136,000	
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					N－バスの運行を継続し、地域特性にあった補助交通としての達成具合を図るための定量的な指標として、長久手市地域公共交通計画と同じものを設定している。 目標値については、同計画に基づき、利用数の伸び率と路線再編（令和9年度）の減少を踏まえ積算している。						
		評価の理由、分析												
	コロナ禍前のように人の移動が増えてきた中で、N－バスの乗車人数は前年度より増えましたが、目標よりも少なかったことからC評価とした。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由										
		A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		令和6年度に策定された地域公共交通計画やその計画に位置付けられた新しい施策（デマンド）などをもとに、市としてより持続可能な地域公共交通となるように、N－バス（デマンドを含む。）について、令和9年度の再編に向けて検討を進める。									
		改善ポイント												
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）														
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度				
1	N－バス運行再編事業委託	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	長久手市地域公共交通計画に基づき、地域特性にあった補助交通として持続可能な地域公共交通となるように、令和9年4月の再編に向けて、支援委託を行い本格的再編事務を進める。											
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	(単位：千円)	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度	
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		事業費	予算	決算	予算	決算	予算	
			400			400	400	400	7,370		
		特定財源	合計額								
			(内 国費)								
			(内 県費)								
			(内 諸収入)								
			(内 その他)								
		一般財源			400	400	400	400	7,370		
		積算額			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞						
		未定			Nーバス運行再編事業委託 6,963千円（0千円） 道路通行料 7千円（0千円） 共同研究負担金 400千円（400千円）						